

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

回答率

事業所職員： 6名回答、回答率 100%
保護者様： 11名回答、回答率 48%

職員の意見

○環境・体制整備

- ・児童の成長に伴い、着替えのスペースの確保、導線の見直しが必要である
- ・法令の基準を満たしているが、スタッフと児童比がアンバランスな時がある。

○業務改善

- ・保護者会や日々の連絡帳など、信頼関係を築き、児童・保護者のニーズを療育に反映出来ている。
- ・支援カボトムアップのため、教室内研修の定期的開催により力をいれていく。

○適切な支援の提供

- ・スタッフ全員が日々の療育活動について意見交換をすることで、活動の幅を広げている。
- ・子どもの状況によってさらに様々な課題を用意する必要がある。
- ・半年に一度の支援計画の見直しをすることができる。

○関係機関や保護者との連携

- ・本格的な医療ケアを必要とする児童はいないが、進行性の病例児童に対し、学校保護者との担当者会議を実施している。
- ・日々の送迎で児童の様子を細かくお伝えしたり、保護者から相談を受けたりして関係を作っている。

○保護者への説明責任等

- ・保護者会で保護者同士が話す機会を作っている。
- ・非常時には迅速に電話連絡・送迎時の説明を行うようにしている。
- ・ブログやニュースレターで日々の児童の様子をお知らせできるようにしている。
- ・日常と異なる様子があった場合は責任者からフォローの電話を入れるなどの対応を行っている。

○非常時等の対応

- ・教室内研修の中で緊急時について取り扱っている。
- ・児童の避難訓練を月一徹底しているが、スタッフの実際の指示系統については訓練を中々行っていない為今後研修内で行う必要がある。
- ・危機管理意識の向上を図りたい。
- ・マニュアルについては、保護者に認知がなされていない。改めて確認、配布、周知を行う必要がある。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

- ・低学年の時には十分に広さがあったが、成長するにつれて少し狭さを感じる。
- ・30分でも外遊びの時間があると嬉しい。

○適切な支援の提供

- ・季節ごとに活動が計画されており、1年を通して変化を楽しんでいる。
- ・活動のプログラムが子供どもの「どの部分の成長」を促しているのかが分からない時がある。

○保護者への説明等

- ・送迎時や面談時にスタッフからしっかりと児童の様子を話をしているからか、多くの評価を頂く事ができている。
- ・苦情対応について全員から評価を頂く事ができなかった為、より対応を迅速に行えるようにする必要がある。

○非常時等の対応

- ・毎月必ず避難訓練を行っている事もあり、多くの評価を頂く事ができた。

○満足度

- ・73%の保護者から満足している旨のご意見を頂けている。児童が楽しんで通えている、保護者の不安にも細やかに対応出来ている、児童の成長が感じられるといった声が寄せられた。一部の保護者より日常の様子を見学出来ない事が納得できない、正しく評価出来ないといった声もあった。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

- ・スタッフでの教室内研修を多く実施する。
- ・教室内導線の整備、備品の見直し

○改善できた点・まだ残る課題

- ・公園活動の増加
- ・所内スペース(着替えなど)の確保
- ・親子療育参観の実施



アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・様々な療育活動を行うことができている。
- ・ニュースレターだけではなく、ブログも多く更新することで教室内で行っている活動を発信することができる。
- ・教室内研修を日々行うことで、スタッフのスキル向上に努めている。
- ・スタッフ同士が相談しやすい環境もあり、困ったときに話し合うことができている。意見交換も積極的に行えている。

○改善点

- ・療育活動についての説明がサービス提供記録だけでは伝わりにくい事がある。ブログでも「どの部分の成長を促すのか」をしっかりと描き込むことでブログでより療育活動に興味を持っていただけるようにする。
- ・体を動かす活動ができている時とできていない時がある。



中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・魅力的な療育活動の企画・実施していく。
- ・苦情・ご意見があった際の対応をスタッフ全員が行えるようにする。

○1年間で取り組む具体策

- ・療育活動について児童それぞれに合った達成度をわかりやすくサービス提供記録に記載をしたり、ブログを通じて発信をしたり、送迎時に説明を行う。
- ・教室内研修を月3回以上行うことでスタッフ全員の能力向上に努める。

スマートキッズ